

令和4年度 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会（第4回防災部会）会議録	
日時	令和4年1月25日（水）16:00～17:00
開催場所	地域活動ホームゆめ
出席者	（ときわ虹の会）菅田氏、加藤氏（ゆめ）芝氏、小森氏（区役所）市川氏、岩垂氏 （いわまワークス）戸村氏、（夢21上星川）遠藤氏、岩山氏、古川氏（希望の家）島田氏 早坂氏 （ハンディジャンプ）樋泉氏、（区社協）清水氏、（タキオン）中木氏
欠席者	
開催形態	公開（傍聴人： 名） ・ 非公開
議題	
議事	<p>1. 被災地障害者センター机上訓練実施</p> <p>◎事前配布した資料をもとに机上訓練を行う。訓練参加者の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南相馬では地震の他に、原発、津波、風評被害があった。災害直後に自衛隊がローラー作戦を行ったが、障害のある方がどこにも避難出来ずに自宅等にいる事がわかった。事業所の職員が市役所につけて名簿の開示を決断してくれた。 ・横浜で大きな災害が起きれば、全国から応援に駆けつけてくれる。その時の窓口は必要 ・保土ヶ谷区では要援護者名簿は災害直後、地域防災拠点に届ける。しかし、どのタイミングで届けられるかは決まっていない。 ・民生委員は、高齢者は把握しているが、障害のある方は手を挙げてくれないと把握できない。 ・区内の事業所に日中どのくらいの利用者があるのか？また福祉サービスを利用している方はどのくらいいるのかの把握が重要。 ・福祉につながっていない人への周知をどうするか？行政からデータをもらわないと出来ない。また、人数がわかればマニュアルが作りやすいのでは？ ・要援護者名簿をどう生かせるのか？ ・災害時にSOSチラシを配布するには、全国の人の協力が必要。それには名簿が頼り南相馬や熊本ではSOSチラシを配布した事によっていままで見えなかった課題がうきぼりになった。 <p>2.次年度の代表と取り組み予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度の防災部会の代表は、引き続き菅田氏（ときわ虹の会）。 ・次年度は、 <ul style="list-style-type: none"> ① 各事業所の防災訓練について情報交換や見学の実施。 ② 研修の実施（予算 30,000） ③ 被災地障害者センターについて（予算未定） 購入したいものは、のぼりやビブス。 <p>次回の防災部会は</p> <p>3月1日（水）16:00～17:00 ゆめ 次年度に向けてと要援護者名簿について</p>